

全国曹洞宗青年会

禅文化 学林

巡る、悼み

今が明日への新たな一歩

東日本大震災の悼みが、発生から1年を経過しても巡り渡って、
時間空間を超えて共有されることを祈念して命名しました。
時間とは即ち、今後もこの悼みの継続され
道環(物事が円い環のように途切れないこと)することが源泉となり、
被災地の復興とその取り組みが、今後も中長期的に継続されること、
空間とは、被災地の内外を問わず、この悼みが共有されることです。

慰霊・復興祈願法要

平成24年 3月11日(日) 13時開場

14時30分 打ち出し 14時46分 鳴鐘・黙祷

引き続き 慰霊・復興祈願法要

主催／全日本仏教青年会 主管／全国曹洞宗青年会

慰励イベント開催

平成24年 3月18日(日) 10時～15時

災害復興支援現地本部(伊達市霊山町・成林寺)にて、
飯館村から各地仮設住宅に避難している方々や、
伊達市近隣住民のみなさんを現地本部に招待し、慰励するイベントを開催します。

復興寄席

三重県曹洞宗青年会の太鼓チーム「鼓司」による演奏と

被災地子ども太鼓チームとの交流ワークショップ開催。

当日は、お茶会サロン、足湯、炊き出し、編み物ワークショップなど、

災害復興支援部の通常活動も併せて実施します。

共催／全国曹洞宗青年会、(社)シャンティ国際ボランティア会、
(社)落語芸術協会、成林寺

いずれも会場は

福島県伊達市・成林寺本堂

〒960-0806 福島県伊達市霊山町山戸田中ノ内20

(全曹青災害復興支援現地本部)

開催中

平成24年3月1日(木)～18日(日)

パネル展「巡る、悼み ～大震災に縁り添う僧侶たち～」

この一年間、全曹青災害復興支援部現地本部や

加盟団体・各会員、並びに関連団体やその個人によって記録された画像を

パネル展示し、全国各所で一般公開しています。

期間中に厳修される、加盟・関連団体による慰霊・復興祈願法要の予定や

パネル展「巡る、悼み ～大震災に縁り添う僧侶たち～」の情報など

関連する最新の情報は全曹青ホームページ「般若」に随時更新しています。

<http://sousei.gr.jp/>

「禅文化学林」とは、全国曹洞宗青年会の主たる事業の一つです。全国曹洞宗青年会は、昭和50年11月に発足しましたが、「禅文化学林」はその発足から現在まで継続開催されてきております。開催の目的は、「禅の教えを通じて、人間の信仰する心と人生の意味づけを明確にし、一般・僧侶両者が禅の教えを体系的、体験的に学んでいく」というものです。名称の「禅・文化・学・林」とは、それぞれが個別の意味を持っております。端的に申せば、禅という文化を学ぶ林(場所)ということなのです。